

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成20年度生涯学習センター第1回運営委員会 (川西市生涯学習センター)		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線4567 (7 5 7 - 8 4 8 1)		
開催日時	平成20年10月24日 (金) 14時00分～		
開催場所	生涯学習センター 1階0Aルーム		
出席者	委員	大塚啓子(委員長) 山本房子、常行貞臣、大崎喜弘、堀田啓子、大音裕子、石原 明、 眞田真美、田口 進、渡瀬順之	
	その他		
	事務局	寺本正廣、中定久紀、海野恵子、藤原育子	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	開会、挨拶、自己紹介 運営委員会副委員長の選任について 報告事項 (1) 平成20年度のレフネック第15期生の応募結果について (2) 平成21年度レフネック事業計画について (3) 平成20年度レフネック第14期生の修了式について (4) 貸館の有料化について (5) その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

1. 開会

2. 挨拶

教育長および教育振興部長所用で欠席のため、所長、大塚運営委員長より挨拶

3. 自己紹介

4. 副委員長の選任について

生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則第17条第2項により委員の互選

副委員長 大音裕子氏 を選任

5. 報告事項

(1) 平成20年度レフネック第15期生の応募結果について

事務局 資料1のとおり説明

各学科定員70に対して応募者数は化学・薬学科101、近代史学科117、合計218人で倍率は合計1.6だった(去年は2.4)。優先入学枠を各学科20設けているが化学・薬学科8、近代史学科12とかなり下回った。

運営委員 過去において落選された人は学科をよく見て申し込まれていると考えられる。何でも入学したいとは考えられていないと思われる。とてもうまくいっているので優先枠はこのままでお願いしたい。

応募者はいつも男性が多いのか。もっと女性が増えてもいいと思う。

事務局 開設する学科により男女、年齢にばらつきがある。

優先枠に関しては次年度も70人定員に対して約3割の20人で問題なしと思う。

(2) 平成21年度レフネック事業計画について

事務局 資料2のとおり説明

いずれの事業も調整中、確定ではない。現段階での報告。

(仮称) 経済・経営学科

事務局 過去に実施したことのない商学とこれまでに人気の高かった経済学を採用。講師陣は同志社大学、関西学院大学ほかから招聘の予定。

運営委員 時を得た企画、専門的で内容濃いものと見受けられる。

事務局 グローバルガバナンス等の世界の企業戦略から関西の中小企業の奮闘する様子など多岐にふれることをめざす。

運営委員 経済・経営について基礎知識がなくても大丈夫か。

事務局 経営学、商学の数学的な原論は大切だが今回は省略している。トヨタ型の人材育成やその他ユニークな経営の紹介など導入はやさしいところを考えている。経営手腕、全世界的な情報ネットワーク、最終的には経済政策などにもふれられるような夢のある講義内容としたい。

運営委員 講師が多岐、内容が分散化する危惧はないのか。

事務局 全体を統括する同志社大学の藤原教授は商学部長だが、経済学博士。同志社大学の体系だった指導をベースにしているので懸念はない。

審 議 経 過

NO. 2

運営委員 受講対象や学習のレベルはコーディネイトを依頼した先生から講師陣にあらかじめ通知される。問題はない。

運営委員 企画をまとめているのは誰か。

事務局 毎年苦勞している。外部講演会などで出会った先生などの人脈や大学関係者から幅広く紹介していただく事もある。個別交渉が必要なこともあるが、高度な内容、系統だったものをめざし学科として構築している。

(仮称) 文化人類学科

事務局 過去にない学科。

運営委員 千里文化財団は民博の独立行政法人と見受けるが、委託の形態は。

事務局 講師を依頼しても今回のように国立民族学博物館の講師を招聘する場合、すべて千里文化財団をとおしての依頼となる。年20回の中に国立民族学博物館の見学も含む予定だが、契約内容は今後協議をしていく。

運営委員 40回の費用(講師料)はいかほどか。

事務局 90分の講義が5万円、2年間で200万円。

運営委員 どの事業も同じか。いそがしい医理系の講師によくこの安い金額で来てもらえるものだと。

事務局 どなたも同じ金額。医、文で意識は違うが社会貢献と考えられ引き受けられると思う。社会人教育に力を入れてきている大学が増えつつある。

運営委員 大学にも社会貢献が求められている。大学側の考え方も変わってきている。社会貢献で教えたいという意識が強くなってきている。

化学・薬学科(2年次)

事務局 医学、薬学を講義内容とし、講師として大阪大学とともに大学に関係の深い(株)ペプチドから招聘したい。

近代史学科(2年次)

事務局 戦争と平和への理解を深める。立命館大学の講師陣に加えて前京都府立大学学長や京都精華大学からも講師を招聘する予定。

質問なし

オープン講座

情報講座「(仮称)放送メディアを考える」(4回)

【講師】関西大学社会学部教授 黒田勇

環境問題講座「地球温暖化を考える」(3回)

【講師】兵庫県立人と自然の博物館主任研究員 佐藤裕司、客野尚志

地学講座(仮題)「地震活動の謎を解く」(4回)

【講師】大阪大学大学院理学研究科准教授 山中千博

事務局 一般市民80名、レフネックの学生70名の150名定員の講座、3~4回の短期開催、招聘が難しい講師を選定。

運営委員 「地球温暖化」など洞爺湖サミットの課題と重なる。又、地震についてなどタイムリーな企画。

運営委員 映像を使う予定はあるか。
 事務局 地震波の音、映像などを示しての講義を計画している。
 運営委員 オープン講座は市民の人気の高い。いずれも興味をもたれると思う。

課外講座

パソコン教室（初級・入門・応用の計4コース）

陶芸入門教室（2コース）

郷土史教室（1コース）

事務局 入学された方対象の講座、年齢層が比較的高い。
 パソコン講座ではイラストの編集や写真の貼り付けなど応用コースを設定する。陶芸では、作品づくりに加えて、陶芸の歴史、技術の進歩といった学習面も強化する。郷土史講座は講師を市職員と市民で構成、生活に息づく内容をめざす。

運営委員 課外講座の費用負担は。

事務局 必要経費として別途費用徴収あり。

運営委員 定員に対しての受付状況は。

事務局 パソコン講座は文書入力のみだと希望者減となる。来年度は応用編としてイラスト、写真アルバム編集などあたらしい課題を用意する。

生きがい学習塾

事務局 学生自らが教壇に立って指導者となる企画。個人の人格形成にかかわる教育の機会となっている。

その他

事務局 各学科でお世話になった大学教授などからの申し出により無料講演の機会が増えている。学生の真摯な学ぶ姿勢、またレフネック事業が講師の共感を得ている。また、講義修了後も、OB会単位で講師陣と交流の継続が見られる。

（3）平成20年度レフネック第14期生の修了式について

事務局 資料3のとおり説明

委員長のみ9時30分から記念写真の撮影がある。

その他の委員の方は10時から式典にご参加いただきたい。

（4）貸館の有料化について

事務局 資料4のとおり説明

資料4は平成20年4月1日使用申請分からの規則（案）

維持管理経費を利用者に負担していただく。現行は午前・午後・夜間の3区分だが、時間貸しが利用者の要望に合うと議会の意向があり調整した。アンケート結果からも時間貸しを58パーセントが支持しており、改正を進めている。

運営委員 使用料の全額還付がないのはなぜか。また、使用申込が1ヶ月前にしか出来ないのはなぜか。

審 議 経 過

NO. 4

事務局 レフネック事業を優先するため使用申込は1ヶ月前からとしている。公民館などでは使用申込は2ヶ月前から受付(中央公民館は4ヶ月前から受付)でき、全額還付は1ヶ月前までに使用の取り消しを申し出たときとしている。生涯学習センターに全額還付の規定がないのは他の施設と条件がそろっている。

運営委員 他市は時間貸しを採用しているのか。

事務局 他市の類似施設は午前・午後・夜間の3区分制となっている。スポーツ施設においては時間区分制となっている。

運営委員 時間貸しは利用者にとって本当に利便性があるのか。あわただしいのでは。

運営委員 使用者がゆとりのある時間帯での使用申請をすればよい。

運営委員 生涯学習センターは飲食ができない規定となっている。改める予定はないか。

事務局 現行どおり飲食は不可とする。

(5) その他

事務局 平成21年度レフネック第16期生募集は従来どおりに行う。今年度運営委員会はあと1回開催する予定。

運営委員 了解。

運営委員 市報で市内大学との包括提携の記事を見たが。

事務局 市政部門での提携、直接的な生涯学習センター事業面での提携ではない。

その他特記なし

6. 閉会